

向寒の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃より福島原子力企業協議会に対し、格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

コミュニケーション活動の一環として会員各位の相互理解をより一層深めることを目的に、平成26年度から企業訪問を開始し、今回で18回を向かえました。

この企業訪問の取り組みを通じて、会員相互の理解活動に少しでも貢献できればと思います。

今回は11月上旬に東電設計さんを訪問しました。皆さんが原子力発電所の安定的な停止維持や廃炉に向け作業に取り組まれている状況を報告いたします。



東電設計株式会社

福島原子力事務所所属メンバーは、フィールドエンジニアリングG 3名、福島運転訓練G 13名、運転技術G 1名に私を入れ18名おります。

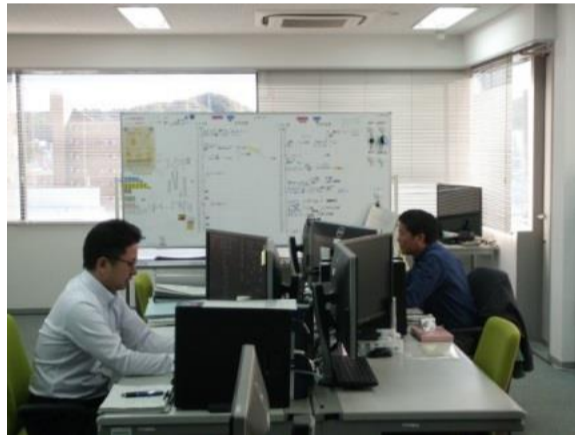


曾根原所長からの一言

フィールドエンジニアリングメンバーは本部と協力し、福島第一原子力所1-4号集中監視装置、水処理監視装置、5/6号機プロコン関連のシステム構築、メンテナンス等を行っております。また、訓練メンバーは福島第二原子力発電所構内にある訓練棟に出務し、福島第一原子力発電所当直員の方（プラント、水処理）及び、福島第二原子力発電所当直員の方の運転技術維持・向上のため、シミュレーター訓練、机上講義の教育を行っております。

今後も廃炉に向け、微力ながら貢献していきたいと思っております。

事務所内の様子



朝のミーティング

2Fサイトシミュレーター作業状況

現在、2Fシミュレーターは、運転G、システムG、関連企業様と一緒にリプレイス工事を行っており、終盤に向け頑張っております。12月下旬から訓練が再開されます。



<ちょっと一息>

事務所から外を見ると・・・

【本日も開催!】の
平競輪場が見えます。

・・・頑張ってる!



昼のミーティング



協議会訪問

東電設計さんにお邪魔した時のスナップ写真です。
曾根原所長から東電設計さんの取り組みについてお伺いしました。
現場の機器の状態を集中監視室で一元監視できるようになり、現場で働く人たちの負担や被ばく線量が大幅に低減されたこと、原子力プラントや廃炉作業を支える根幹である人材育成などに大きく貢献されておられることなど、貴重なお話を伺うことが出来ました。

今後も原子力発電所の安定的な停止維持や廃炉作業へのご協力をよろしくお願いいたします。

お忙しいところご対応頂きありがとうございました。

次回(19回)の企業訪問の訪問先は現在調整中です。



編集後記

今回の発刊に当たり、所長の曾根原様には大変お世話になりました。
今回の訪問を通じ、それぞれの企業さんの努力の結集により、原子力発電所の停止維持や廃炉作業が成り立っていることを改めて認識することが出来ました。ありがとうございました。企業協議会では少しでも皆様のお役に立てるように頑張りたいと思いますので、宜しくお願いします。

発行責任者：事務局長 浅川 学
TEL：0240-23-6940
FAX：0240-23-6942